

# 全国初の粗粒材養浜は従来工法の**半額**で**大きな効果**



養浜前の神向寺地区



粗粒材養浜には、2.5mm～13mmの小碎石を用いました。



養浜後

侵食により砂浜が消失し、波しぶきが住宅に入り込む状況にありました。  
 そこで、全国初の試みとして、粒の粗い土砂を海岸に投入(粗粒材養浜)したところ、土砂は沖合いへ流れ出ることなく、砂浜を回復させ、波しぶきの発生も抑えることができました。  
 従来工法(離岸堤+養浜)の**約半分の工事費**で**大きな効果**を上げることができました。  
 今後は、更なるコスト縮減に向け、浚渫砂と粗粒材の併用等、サンドリサイクルを推進し、適切な養浜を実施していきます。



回復した砂浜では、粗粒材と現地の細砂が層状に重なり合い、自然に近い砂浜の姿を形成しています。

